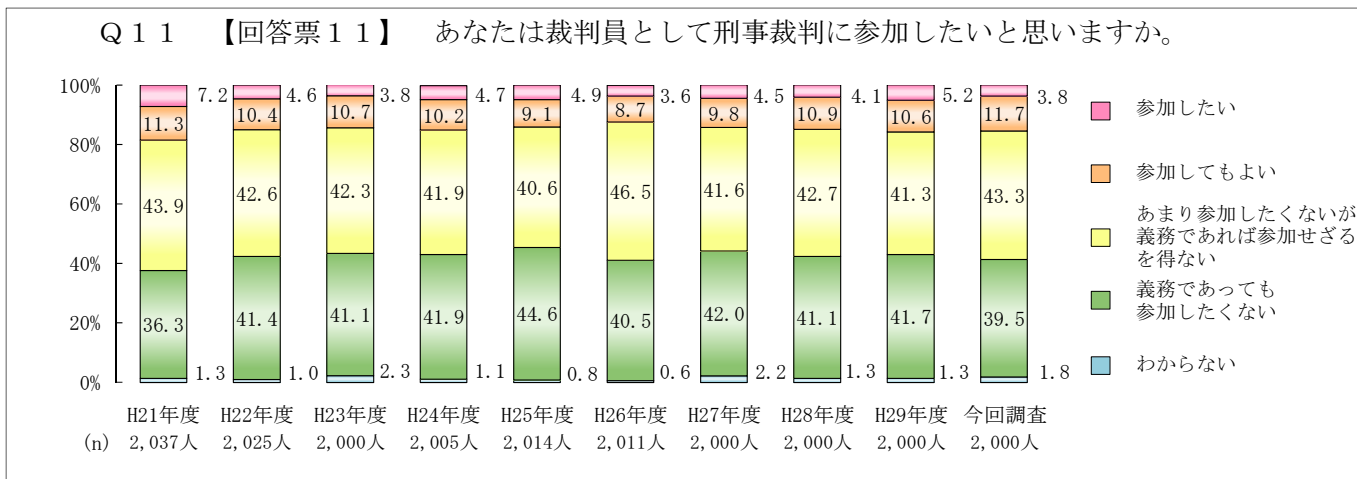
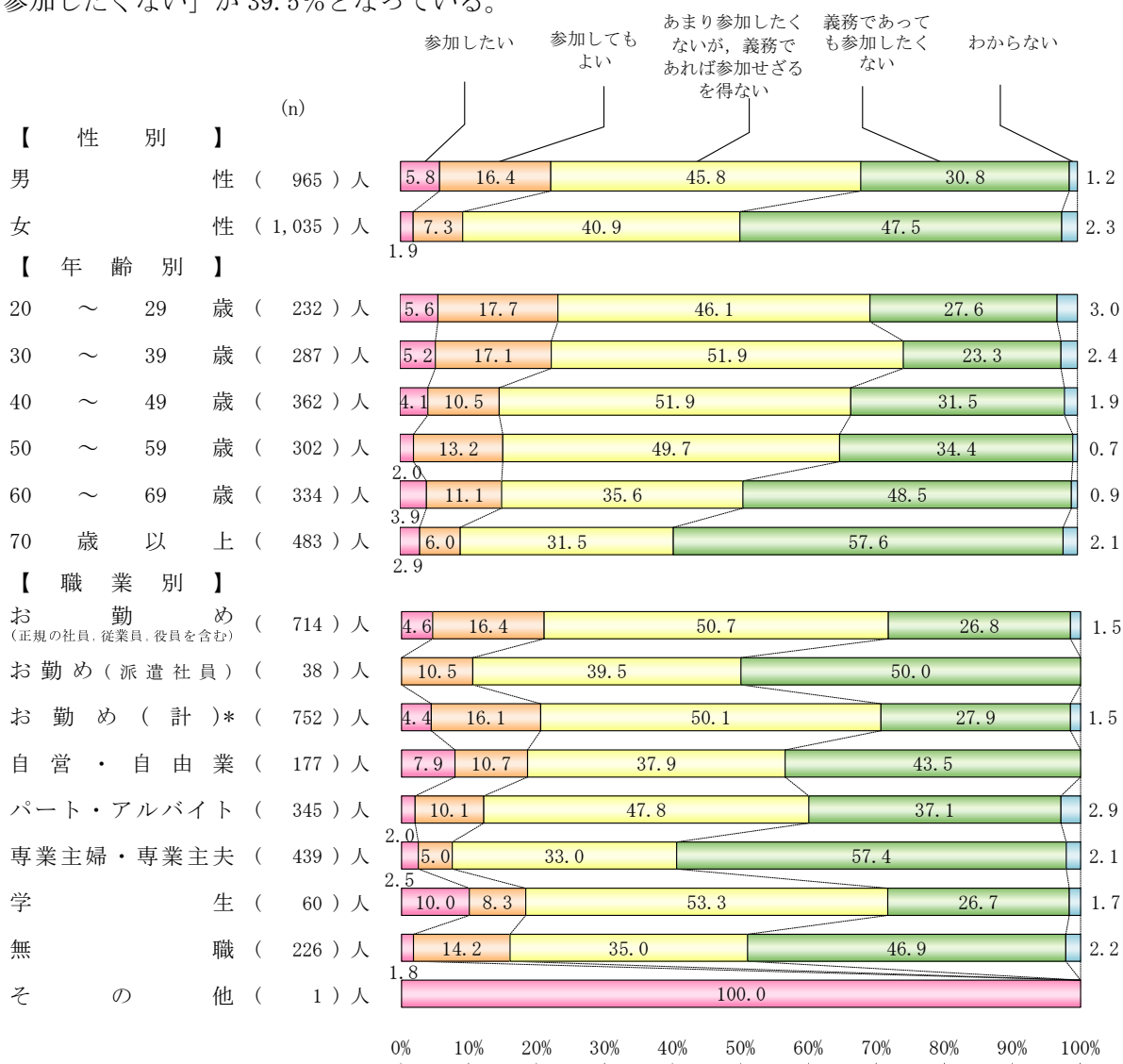


# 11 裁判員として刑事裁判に参加したいか



裁判員として刑事裁判に参加したいかどうかについては、「参加したい」が3.8%、「参加してもよい」が11.7%、「あまり参加したくないが、義務であれば参加せざるを得ない」が43.3%、「義務であっても参加したくない」が39.5%となっている。



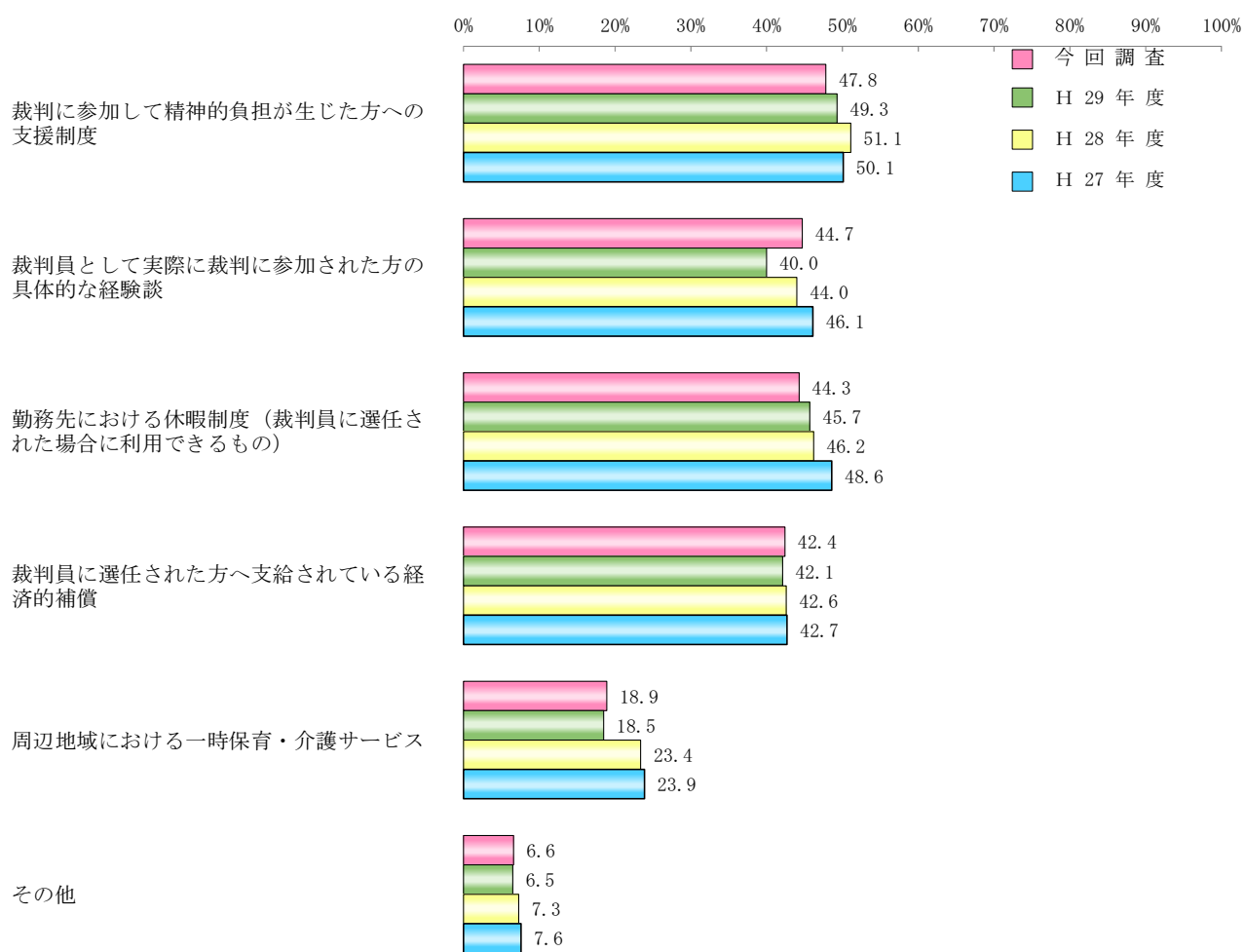
\*お勤め (計) は、「お勤め (正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め (派遣社員)」を合計したものである。

「参加したい」、「参加してもよい」と答えた者の割合は、男女別では、男性が高くなっている。年齢別では、20代と30代が高くなっている。職業別では、お勤め(正規の社員、従業員、役員を含む)が最も高くなっている。

## 12 裁判員制度への参加意欲を高めるために必要な情報

**【資料2】** 実際に裁判員を経験された方のうち、47.0%の方が、裁判員に選ばれる前は、裁判員を「あまりやりたくなかった」「やりたくなかった」と回答されています。その一方で、裁判員として裁判に参加した感想についてお聞きすると、96.3%の方が、「よい経験」「非常によい経験」と感じたと回答されています。（平成29年度アンケート調査結果報告書）

Q12 【回答票12】 あなたが裁判員に選ばれるかもしれないとして、参加意欲を高めるために必要な情報はどれですか。当てはまるものを、この中からすべてあげてください。(M. A.)



(n=2,000, M. T. =204.5%)

裁判員に選ばれると仮定した上で、参加意欲を高めるために必要な情報として、「裁判に参加して精神的負担が生じた方への支援制度」が47.8%、「裁判員として実際に裁判に参加された方の具体的な経験談」が44.7%、「勤務先における休暇制度（裁判員に選任された場合に利用できるもの）」が44.3%、「裁判員に選任された方へ支給されている経済的補償」が42.4%、「周辺地域における一時保育・介護サービス」が18.9%などとなっている。

	該当数 (n)	生裁 じ判 たに 方参 加し て支 援精 神制 度 の負 担が	加裁 判員 とし て実 際 に裁 判に 参 加	利(勤 用務 先先 にお ける 休 暇制 度 に 利用 でき るも の)	さ裁 判員 に選 任さ れた 方へ 支給 され てい る 経済 的補 償	介周 護辺 サー ビス にお ける 一時 保育 ・	そ の 他	回 答 計
TOTAL	2,000	47.8	44.7	44.3	42.4	18.9	6.6	204.5
【性別】								
男 性	965	42.9	40.6	49.0	44.1	13.1	6.1	195.9
女 性	1,035	52.4	48.5	39.8	40.7	24.3	7.0	212.6
【年齢別】								
20～29歳	232	36.6	39.7	64.2	50.0	24.6	3.0	218.1
30～39歳	287	42.9	44.9	69.3	56.4	31.7	2.4	247.7
40～49歳	362	48.9	49.7	60.2	51.9	19.6	1.7	232.0
50～59歳	302	55.0	38.7	53.0	45.0	15.9	3.3	210.9
60～69歳	334	54.2	49.4	28.1	32.6	15.0	8.1	187.4
70歳以上	483	46.4	43.7	13.5	28.2	12.4	15.3	159.4
【職業別】								
お勤め(正規の社員等)*1	714	44.4	41.6	68.6	49.4	16.7	2.4	223.1
お勤め(派遣社員)	38	42.1	52.6	39.5	42.1	15.8	10.5	202.6
お勤め(計)*2	752	44.3	42.2	67.2	49.1	16.6	2.8	222.1
自営・自由業	177	46.3	43.5	27.7	41.8	11.3	7.9	178.5
パート・アルバイト	345	50.7	49.9	50.4	49.9	22.9	3.5	227.2
専業主婦・専業主夫	439	52.2	45.1	18.9	32.3	26.7	11.8	187.0
学生	60	38.3	41.7	55.0	40.0	16.7	3.3	195.0
無職	226	50.4	46.5	17.7	28.8	11.1	13.3	167.7
その他	1	-	-	100.0	100.0	100.0	-	300.0

\*1 「お勤め(正規の社員、従業員、役員を含む)」

\*2 お勤め(計)は、「お勤め(正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め(派遣社員)」を合計したものである。

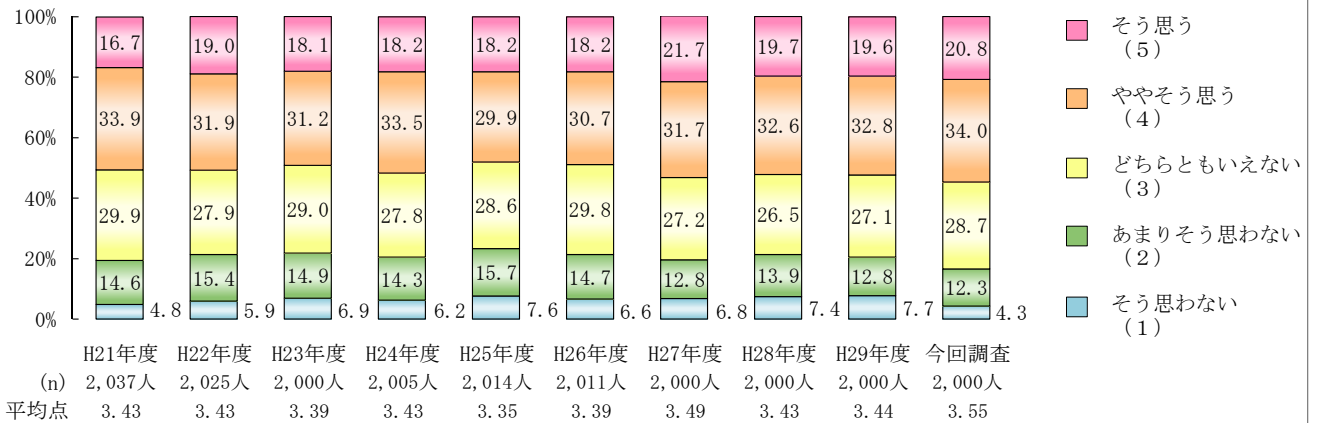
男女別にみると、「勤務先における休暇制度(裁判員に選任された場合に利用できるもの)」、「裁判員に選任された方へ支給されている経済的補償」は男性が高く、「裁判に参加して精神的負担が生じた方への支援制度」、「裁判員として実際に裁判に参加された方の具体的な経験談」、「周辺地域における一時保育・介護サービス」は女性が高くなっている。

年齢別に見ると、「勤務先における休暇制度(裁判員に選任された場合に利用できるもの)」は、20代から50代が高くなっている。「裁判員に選任された方へ支給されている経済的補償」は、20代から40代が高く、「周辺地域における一時保育・介護サービス」は、30代が最も高くなっている。「裁判に参加して精神的負担が生じた方への支援制度」は、50代と60代が高くなっている。

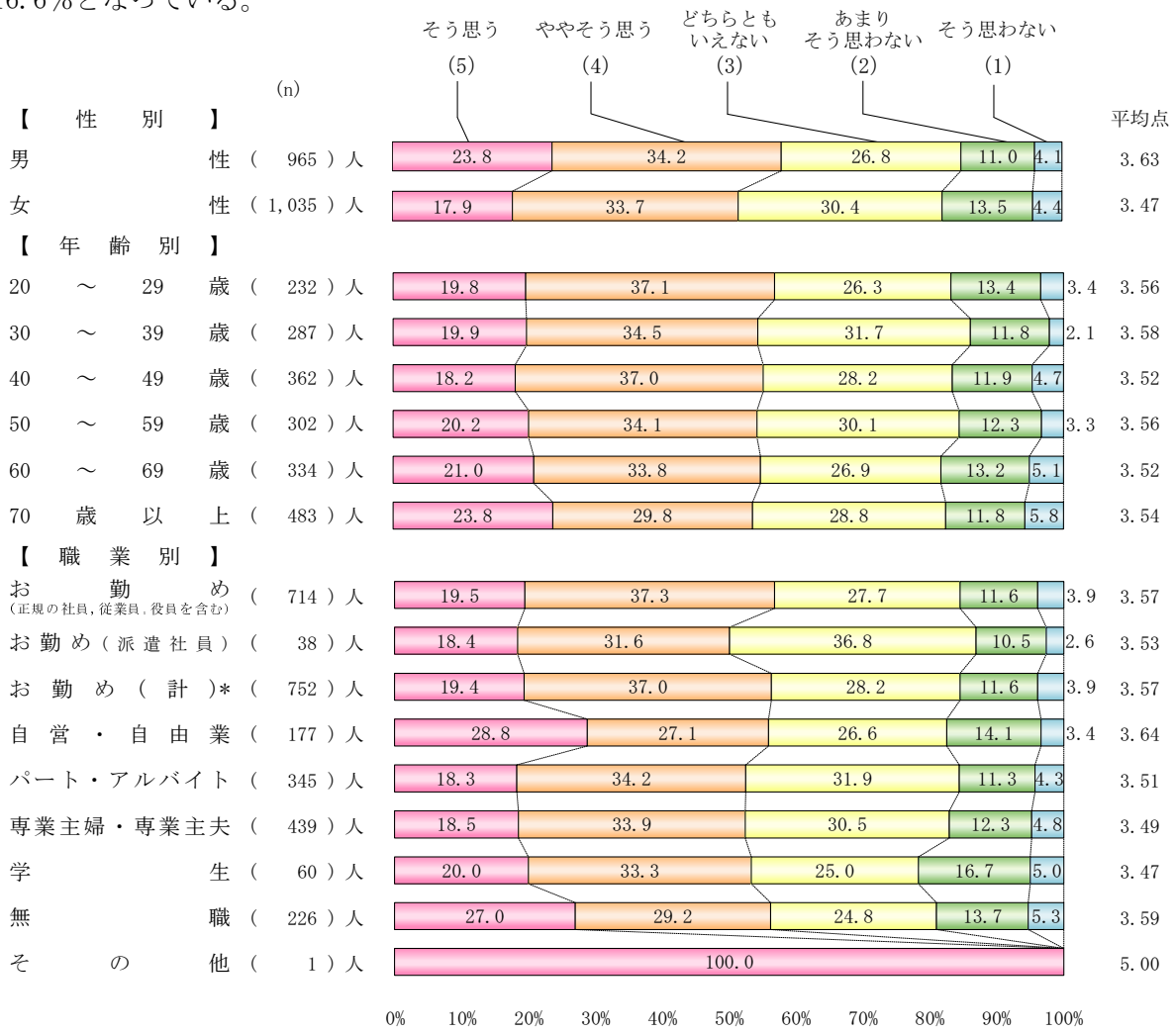
職業別にみると、「勤務先における休暇制度(裁判員に選任された場合に利用できるもの)」は、お勤め(正規の社員、従業員、役員を含む)が最も高くなっており、「裁判員に選任された方へ支給されている経済的補償」は、お勤め(正規の社員、従業員、役員を含む)とパート・アルバイトが高くなっている。「裁判員として実際に裁判に参加された方の具体的な経験談」は、お勤め(派遣社員)とパート・アルバイトが高くなっている。「裁判に参加して精神的負担が生じた方への支援制度」、「周辺地域における一時保育・介護サービス」は、専業主婦・専業主夫が最も高くなっている。

### 13 刑事裁判や司法などに国民が自主的に関与すべきか

Q 1 3 【回答票 1 3】 刑事裁判や司法など公の事柄については、国や専門家に任せておくのではなく、国民が自主的に関与すべきであるという考え方について、あなたはどのように思いますか。



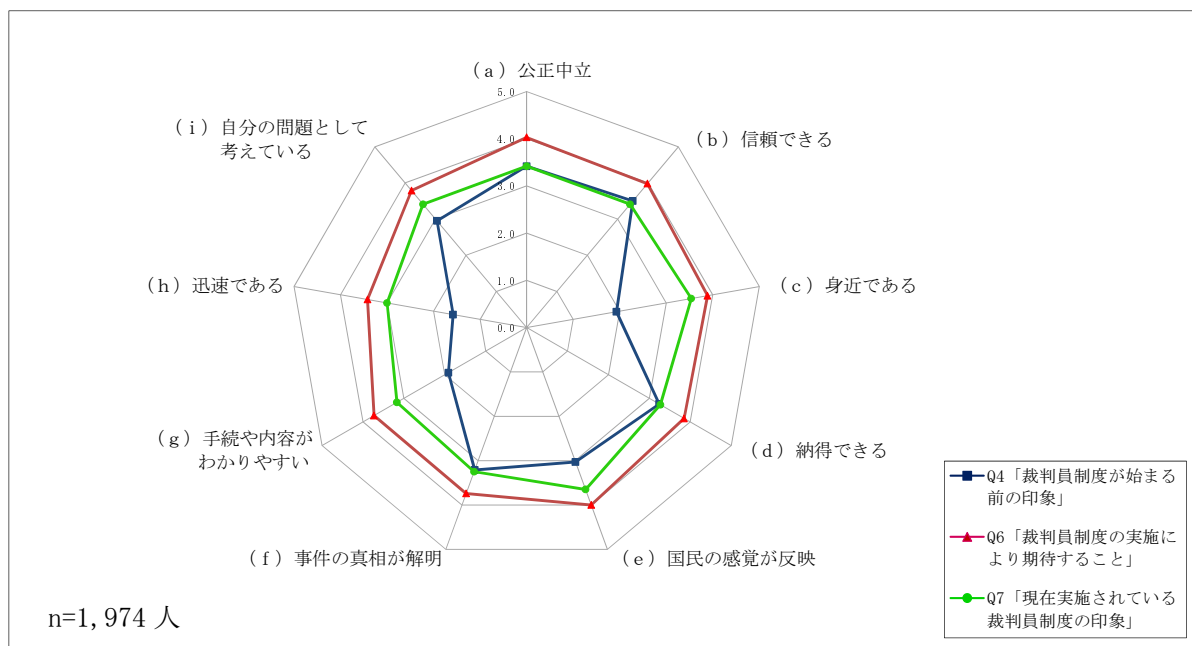
刑事裁判や司法などに国民が自主的に関与すべきであるという考え方については、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は54.8%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は16.6%となっている。



\*お勤め(計)は、「お勤め(正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め(派遣社員)」を合計したものである。

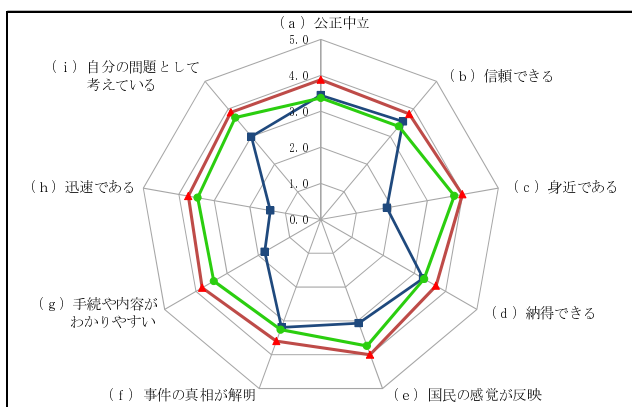
『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、男性の方が高くなっている。年齢別、職業別では、いずれも大きな差はみられない。

## 14 制度開始前・実施への期待・実施後の変化

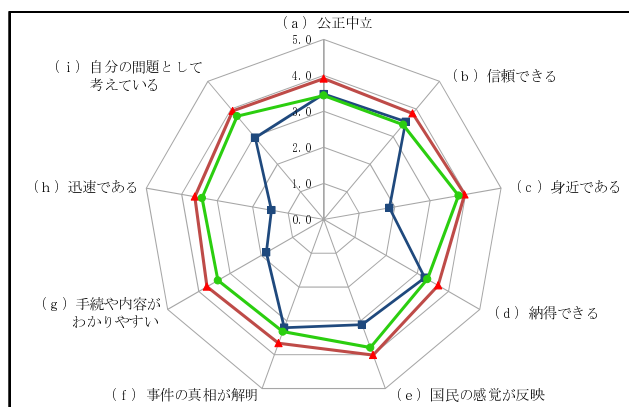


Q4：「裁判員制度が始まる前の印象」、Q6：「裁判員制度の実施により期待すること」、Q7：「現在実施されている裁判員制度の印象」の各問の9項目それぞれの点数を比較してみると、「(c) 身近である」、「(g) 手続や内容がわかりやすい」、「(h) 迅速である」はQ4よりもQ6、Q7の点数が目立って高くなっている。

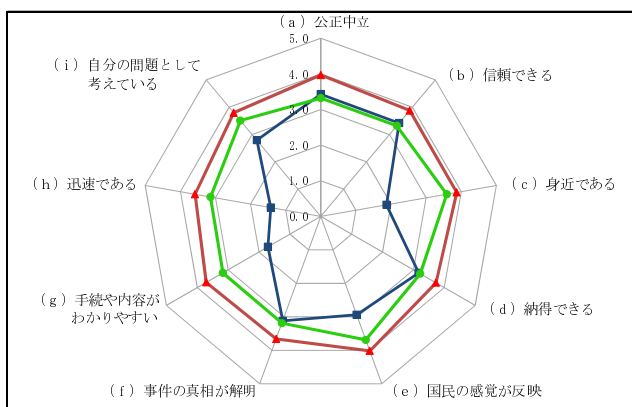
(平成21年度調査結果)



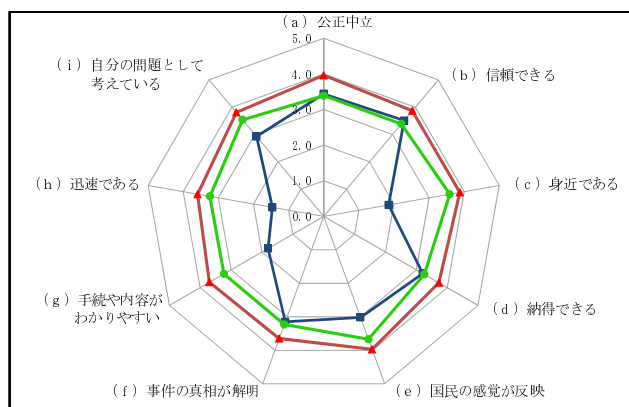
(平成22年度調査結果)



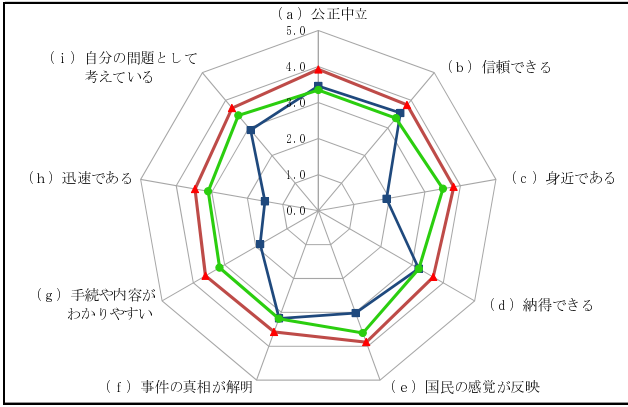
(平成23年度調査結果)



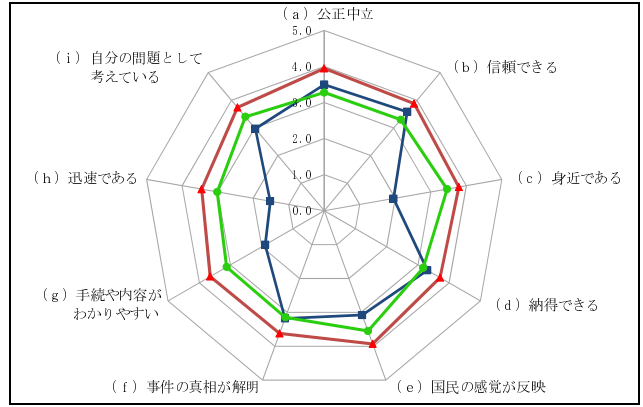
(平成24年度調査結果)



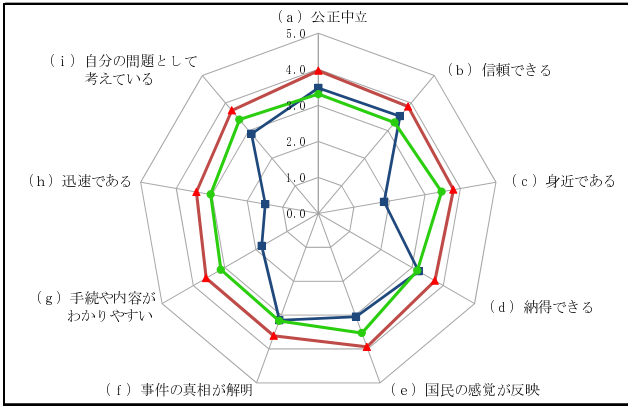
(平成25年度調査結果)



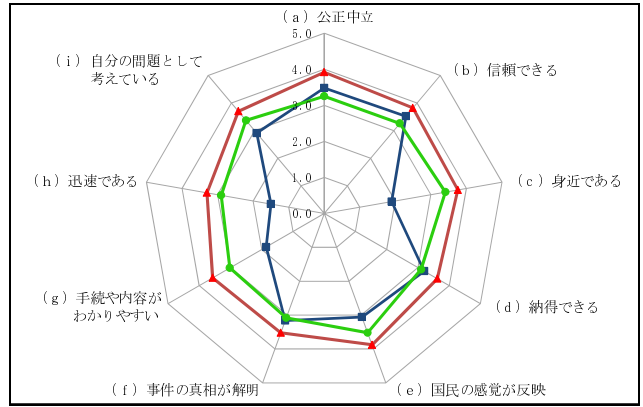
(平成26年度調査結果)



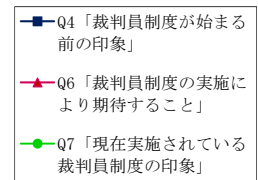
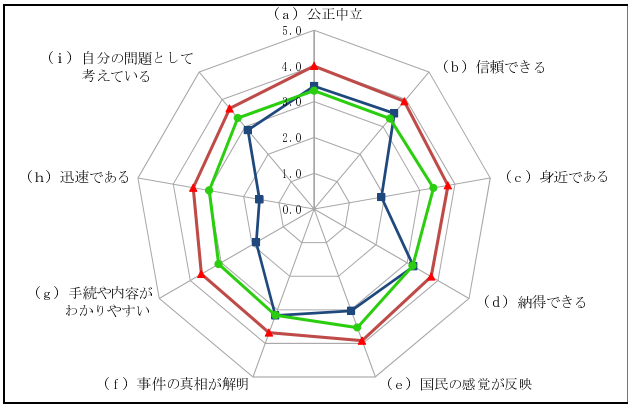
(平成27年度調査結果)



(平成28年度調査結果)

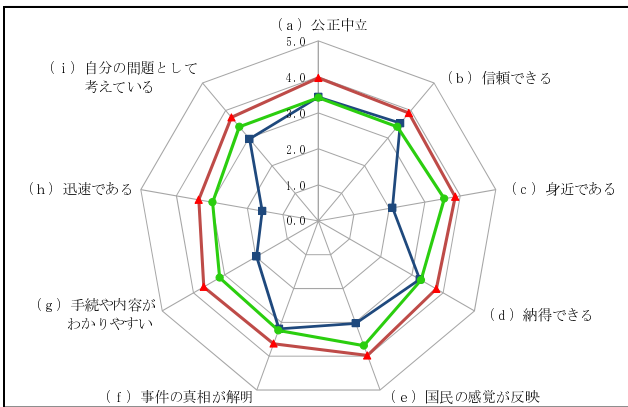


(平成29年度調査結果)

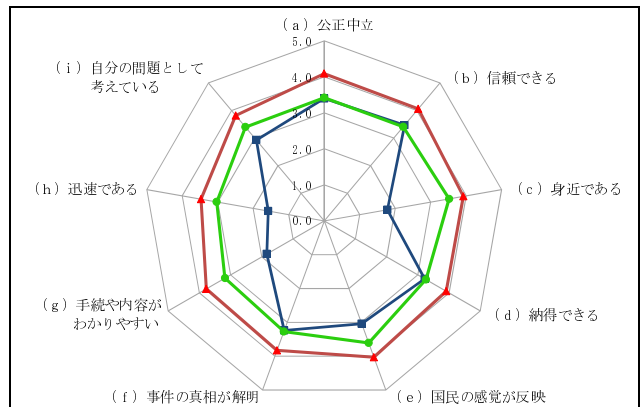


【性別】(今回調査)

男性

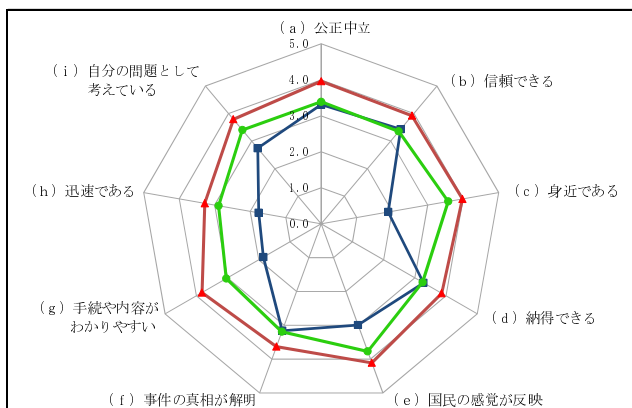


女性

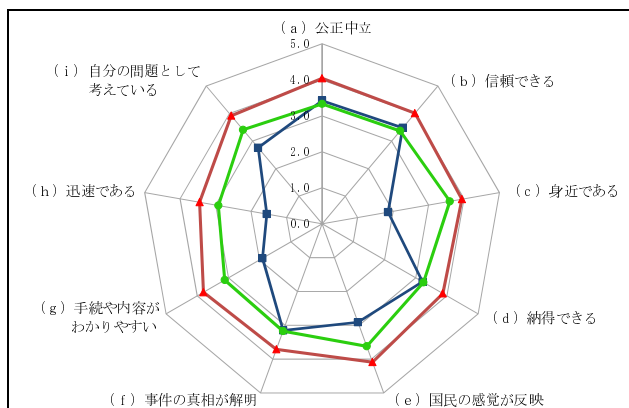


【年齢別】（今回調査）

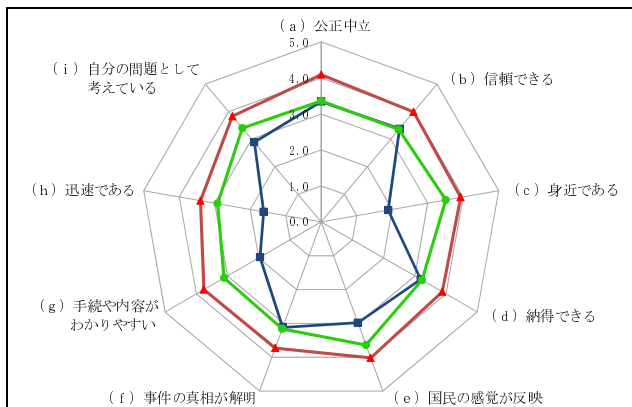
20代



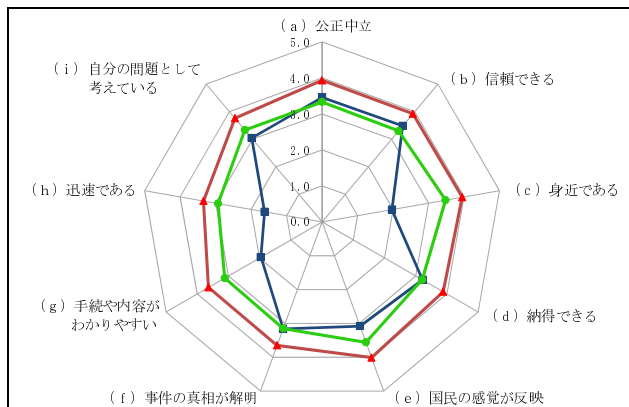
30代



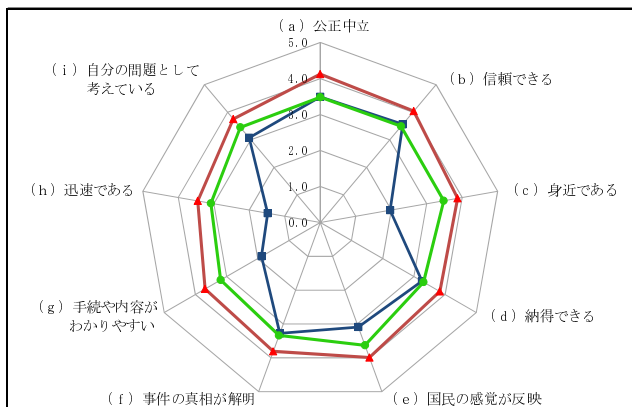
40代



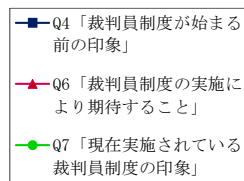
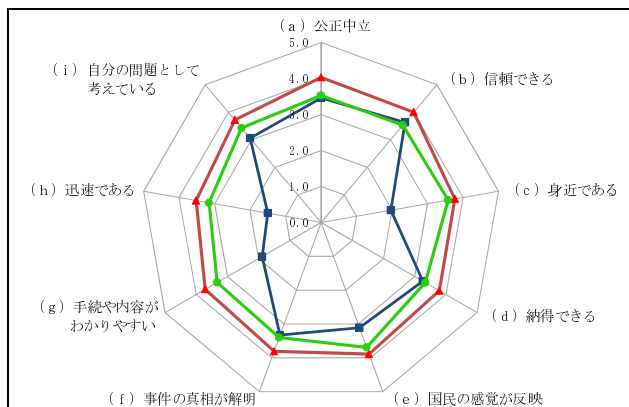
50代



60代



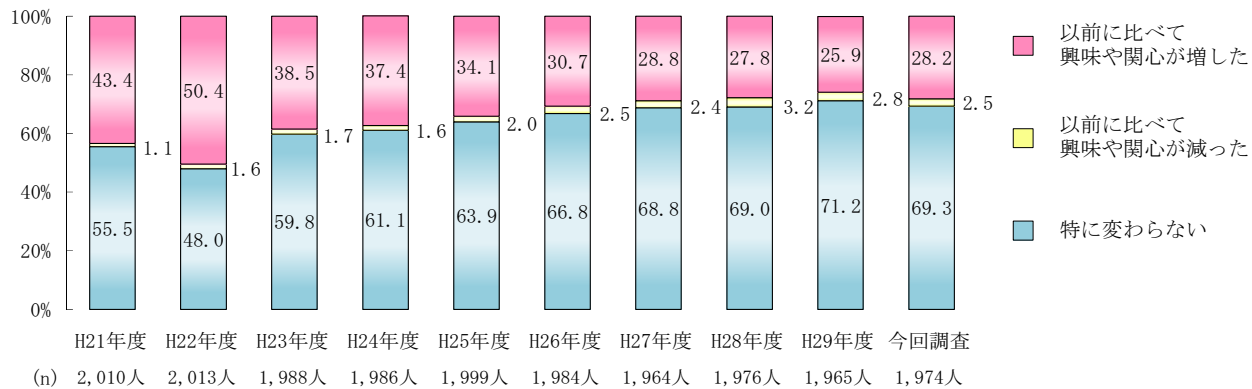
70歳以上



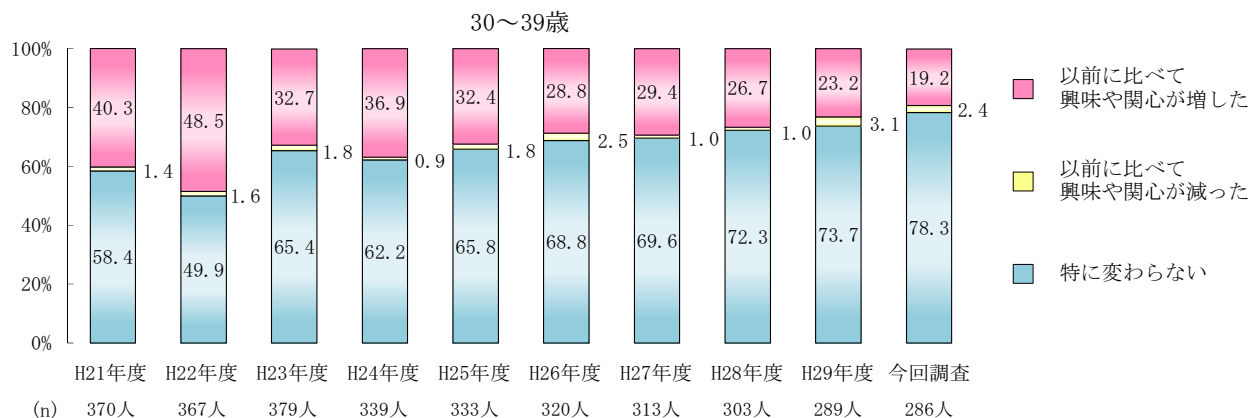
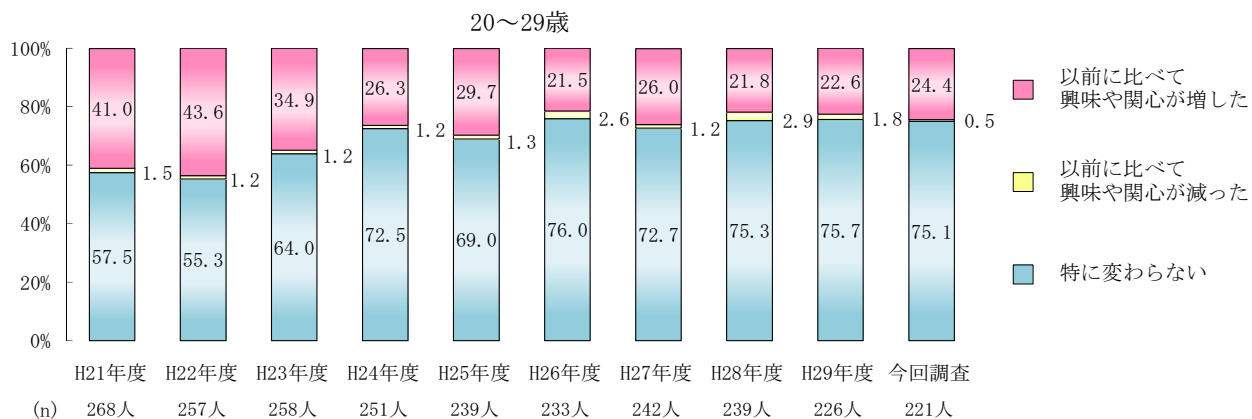
男女別・年齢別にみた場合も、「(c) 身近である」、「(g) 手続や内容がわかりやすい」、「(h) 迅速である」はQ4よりもQ6、Q7の点数が目立って高くなっている。

# 15 【性別】【年齢別】【職業別】の経年変化(Q3, Q11)

Q3 【回答票3】 裁判員制度が開始されてから、あなたの裁判や司法への興味や関心に変化はありましたか。



## 【年齢別】



※【性別】は50頁に掲載。



